

4

河川名

ほしのがわ

矢部川水系

星野川

特徴・アピールポイントなど

既存の自然環境や石橋と調和した文化的景観を保全しつつ、災害復旧事業を実施しました。(宮ヶ原地区の事例)



宮ヶ原地区の状況



被災前の宮ヶ原橋

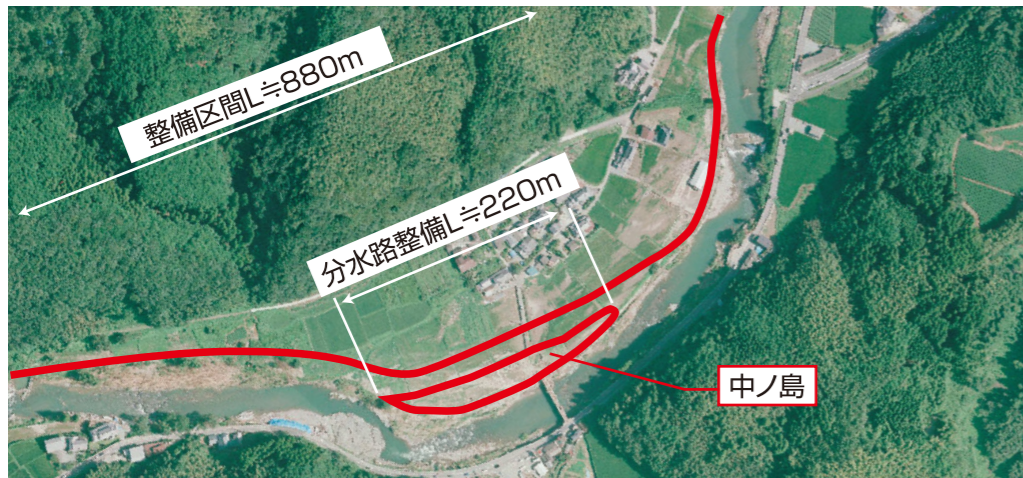


被災直後の宮ヶ原橋

文化的景観の保全・復元について

宮ヶ原橋を含む石橋群は、八女市の景観計画において文化的景観を構成する重要な構造物として位置づけられています。

修景整備検討協議会や学識者ヒアリングを通して、景観に配慮した整備計画の検討を行いました。



修景整備検討協議会および学識者ヒアリング

学識者ヒアリング
H27.12.9

第1回修景整備検討協議会
H27.12.24

学識者ヒアリング
H28.1.21

第2回修景整備検討協議会
H28.2.5

学識者ヒアリング
H28.3.17

第3回修景整備検討協議会
H28.3.24

模型検討会@九州大学
H28.5.25

修景整備検討協議会



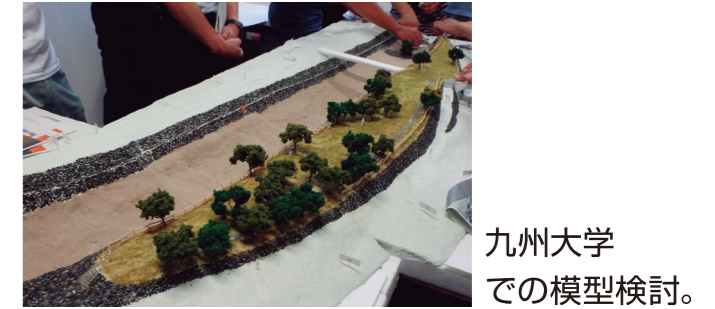
第1回修景整備検討協議会では、整備を行う上での配慮すべき前提条件の確認。



第3回修景整備検討協議会にて整備計画案を決定。



第2回修景整備検討協議会では、景観模型(S=1:250)および図面を基に意見交換。



九州大学での模型検討。

多自然川づくり



護岸は石積(自然石)により復旧。流下能力に影響がない岩を残しました。



片岸拡幅とし現況の多様な自然観環境を極力保全しました。



改修前の平常時流況を維持し動植物の生育・生息・繁殖環境を保全しました。